

## 「学校における業務改善」

# 「伊佐市立湯之尾小学校」の実践紹介

### 効果が期待される取組

## 適正な勤務時間管理及び取組による、業務改善の意識改革

### 実施前の課題

- 業務改善に対する意識化が低く、平成30年度の超過勤務平均時間は、約28時間であった。
- 毎週水曜日を定時退庁日として設定していたが、放課後に校内の各種会が設定されていたり、学級便りを作成したりするために、定時退庁時刻より1時間を超えて勤務する職員が大半であった。



### 実施後の成果

- 標語を職員室前方に掲示することで、職員一人一人が業務改善を意識するようになった。
- 定時退庁日を金曜日に変更し、定時退庁目標時刻を板書することで、定時退庁に対する意識が高まり、令和元年度の超過勤務平均時間が約5時間減少し、定時退庁日においては、定時より1時間以内に退庁する職員が大半を占めるようになった。

## 業務改善を目指した取組の詳細

### 1 適正な勤務時間管理

- (1) タイムカードを活用し適正な勤務時間管理を行うとともに、校長室だより等で毎月の勤務状況を示すなどして、勤務時間を意識した業務の遂行や長時間勤務の改善に努める。
- (2) 放課後の各種会議の精選を図るとともに、時間設定や進め方、運営の仕方を見直す。

### 2 定時退庁日・退庁目標時刻等の設定

- (1) 毎週金曜日と土曜授業日を定時退庁日として設定し、職員室黒板に退庁目標時刻を板書する。
- (2) 退庁目標時刻（18：30）、定時退庁日目標時刻（17：30）を推進する。
- (3) 長期休業中は、原則7時45分開錠、17時施錠とする。

### 3 全職員による業務改善の意識化

- (1) 学校評価の項目に業務改善の内容を設定し、学期毎に評価し改善策を検討する。
- (2) 全職員が業務改善に関する標語を作成し、優秀作品の選定を実施する。また、優秀作品を職員室全面に掲示し、意識化を図る。

時間外勤務状況(出退勤記録カードの記録状況) [ 5月 ]

1. カードの集計	1か月の勤務時間外勤務の総時間数	勤務日の時間外勤務時間の3時を超え超過勤務日数	定時退庁日の退庁時刻より1時間超過の退庁回数	備考
A	18.2	1	0	
B	24.5	2	1	
C	7.8	0	0	
D	32.0	8	1	
E	9.0	0	0	
F	13.0	0	0	
G	12.0	1	0	
H	1.3	0	0	
I	25.5	8	0	
J	20.0	9	0	
K	47.0	11	5	
平均	18.2	2.2	0.8	



### 今後の課題、計画

- 「事務負担の軽減」や「授業の効率化」の面からも、PDCAサイクルに沿って令和元年度に作成した「湯之尾小学校業務改善アクションプラン」の見直し・改善に努める。